

豊潤の里 だより

「赤土のふるさと」を

未来の木谷っ子たちに

～ 市議会請願不採択 ～



東広島市議会は 9 月 18 日、木谷地域からの「東広島圏域内における民間企業等による管理型最終処分場建設の自粛を求める請願」を、賛成 10 反対 19 で不採択しました。

6 月定例議会に請願を提出し、市民経済委員会そして今回の本議会での不採択まで、合計 9 回全ての審査を傍聴して

思うことは、諸議員が請願の本旨からかけ離れたところで話し合いを行っていたことです。軌道修正を試みるも、ここまで深まりのない審査(審査とはいえない)が繰り返し行われ結審したことに憤りを感じました。今回の傍聴には赤崎地域も含めて 12 人が出席しましたが、みなさんも同じ事を思われたことでしょう。

諸議員が「請願」をどれだけ重いものとして受け止めているのか疑問でなりません。何かをお願いする文書として「陳情」「意見」「要望」等が挙げられますが、それらと違って「請願」のみが憲法 16 条で保障された国民の基本的権利のひとつです。その請願が本旨から離れたところで(いや意図的に離して?)審査されていることは、住民の思いや願いを無視した行為で、本来の議会としての役割を果たしていると言えるでしょうか。東広島市が好きで、今後も東広島市で暮らしていきたいと思う住民として、非常に残念でなりません。



しかしながら木谷地域に住む私たちは諦めません。民間企業の栗本ホールディングスによる産業廃棄物の最終処分場建設を絶対阻止しなくては、「赤土のふるさと」を未来の木谷っ子たちに受け継ぐことはできません。今後は「住民(誇り)VS 栗本(金)」の闘いになります。地域住民が一枚岩となり取り組んでいきましょう。

先日、栗本 H が一年ぶりに来ました。「今ある最終処分場の 6 倍もの処分場が出来ることに住民は反対です」と言うと、「最終処分場建設はあきらめない」「地域で必要なものがあれば用意できる」の言葉を残して帰りました。

写真説明：(左上) この請願を審議した市民経済委員会の玉川雅彦委員長による令和元年第 3 回東広島市議会定例会 (第 6 日目) での報告の様子。(右中) 請願についての表決結果の表示

★市民経済委員会における審議の様子は、インターネットで閲覧することができます。

東広島市のホームページ → 東広島市議会 → 委員会のインターネット中継 → 傍聴可能な議会日程 → 委員会中継 1 → 動画 → 市民経済委員会 R010621、R010820、R010903②、R010905②、(掲載期限を過ぎると削除されます)

9/8 第5回 木谷福寿の会



木谷自治協議会主催の敬老事業「第5回木谷福寿の会」が開催されました(昨年は当日の大雨洪水警報による避難勧告発令により中止)。今年末現在で満年齢が77歳以上となる敬老対象者は313名で、94名の出席がありました。寺田衆議院議員と高垣市長から祝辞をいただきました。敬老者のみなさん、出演者のみなさん、イベント司会の中元明美さん、ありがとうございました。



木谷小学校の5年・6年生が演奏する「蛟龍太鼓」。13代目は”絆龍”^{きずな}。絆を大切にする小さな龍たちの太鼓の音が場内いっぱいに響き渡りました。また3年生の児童2名が、おじいちゃんやおばあちゃんの自慢できることや感謝の気持ちを作文に書いて朗読しました。



木谷保育所の年中と年長の20名によるリズム「ソイヤー」。鳴子を持ち法被(はっぴ)姿で舞台狭しと元気いっぱい踊りました。



初出演の「藤貴会 安貴都(あきつ)」。敬老者の健康長寿を祝って踊る「百歳音頭」をはじめ3曲の日本舞踊で会場を魅了しました。



歌声サークル「秋桜」^{こすもす}の皆さんが、聴かせる歌、みんなで歌う歌、サークル代表者の作詞作曲になるオリジナルソング「ぼくは木谷のじゃがいも君」など5曲を披露。

ご臨席いただいた来賓の方々 (敬称略)

寺田 稔 (衆議院議員)

原田 敦子 (東広島市社会福祉協議会安芸津支所長)

高垣 廣徳 (東広島市長)

奥田 浩次 (東広島警察署巡査部長)

宮川 誠子 (東広島市議会議員)

長沼 正夫 (東広島市立木谷小学校長)

岩崎 和仁 (東広島市議会議員)

林下 みどり (東広島市立木谷保育所長)

石丸 光江 (東広島市安芸津支所長)

木谷自治協議会 広報紙



「レイフラワー ハイビスカス」の皆さんが、軽快なハワイアンメロディーにのせて、「瀬戸の花嫁」など3曲を優雅に踊りました。



午前最後の演目は、子育て真っ最中の5人のお母さんによる「いきいき体操ひがしひろしま」。みんなで楽しく体をほぐしました。



「のぼら会」による大正琴の演奏。バラの飾りも鮮やかに揃いのユニフォームで、懐かしい「湯の町エレジー」など3曲を演奏しました。



身近にあるものを使い、軽妙なトークも交え、3つの手品で会場の目をくぎ付け。種明かしの大サービスもありました。



80歳代の出演者もいる「お茶の間カフェほぼろ島」の常連さんによる体操。テレビ時代劇「水戸黄門」でおなじみの主題歌に合わせた体操に、会場でも一緒に体を動かす人がいました。



「みんなで歌おう会」の演目は、フルートやバイオリンの演奏、ハンドベル、「ふるさと」の合唱などバラエティーに富んだ内容でした。



最後は定番のひょっとこ踊り。ひょうきんな表情のひょっとこたちの不揃いな踊りが会場の笑いを誘っていました。

部会活動紹介

福祉生活部会



8/11 “友愛訪問” — お茶と塩あめで熱中症予防を
 猛暑が続く真夏の日々。木谷自治協議会と木谷地区
 社協「蛟龍」がお茶と塩あめを用意し、区長が77
 歳以上の高齢者宅を訪問し熱中症予防をよびかけま
 した（対象者約300名）。

＜木谷自治協議会、木谷地区社協「蛟龍」＞

次世代部会



8/11 ハクセンシオマネキとアカテガニの観察会

木谷の海辺などで見ることのできるハクセンシオマネキとアカテガニ。その生態を観察する会が開かれ34名の児童と保護者が参加しました。ハクセンシオマネキを捕まえ、オスは左右どちらのハサミが大きい個体が多いか調べたりしました（写真左）。アカテガニは大潮のころ産卵のため夜に海へ集まる習性があり、海水に触れた直後に体を震わせて卵を放出する様子が歓声が上がりました（写真右は海岸近くで見つけたアカテガニ）。二種類のカニの観察の途中で、ウミホタルを捕獲しその幻想的な青く淡い光を観察しました。講師は古本敦子さんでした。　　＜木谷はっけん野あそび会＞

＜2019年11月までの各部会の主な活動予定

教育文化部会	10月20日(日)	木谷フェスティバル（秋祭りの応援）	今年は神楽上演	
	11月2日(土)	教育講演会		
福祉生活部会	10月29日(火)	ふれあい合同サロン	＜木谷小・木谷地区社協「蛟龍」＞	
木谷自治協	11月23日(土)	(仮称) 東広島市モニターツアーへの協力	＜主催：東広島市＞	
木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口（男女計）	男	女
令和元年8月末現在	689	1564	760	804
平成30年8月末との比較	-10	-52	-20	-32

編集：木谷自治協議会事務局 広報担当